

指定第1号 新内バッタ塚

種別及び名称	種別	記念物（史跡）
	名称	新内バッタ塚
指定年月日	平成24年12月21日	
所在地	北海道上川郡新得町字新内西2線185番地一帯	
指定の理由	<p>バッタ塚は、明治12年から同18年まで続いたトノサマバッタの大発生により、明治政府が多額の費用をかけ駆除したバッタの成虫や卵を埋めた場所である。</p> <p>高さ1メートル、直径4～5メートルの半円形の塚が、ほぼ原形のまま多数点在しているのは国内でも非常に珍しく、歴史的価値が高い。</p>	
現 状	<p>塚が点在する一帯は、トドマツやカラマツなどが生育する林であり、そのほとんどで人の背丈近くもある笹が生い茂っている。</p> <p>今回、指定に伴う調査では、約20カ所の塚が確認されたが、昭和41年に実施された北海道教育庁による調査では70～80カ所の塚が確認されたという記録（当時の新聞記事）が残されている。</p> <p>この間、間伐作業等で失われたものがあると考えても、周辺には、未確認の塚が点在している可能性は十分にあると思われる。</p>	
その他参考となる事項		